

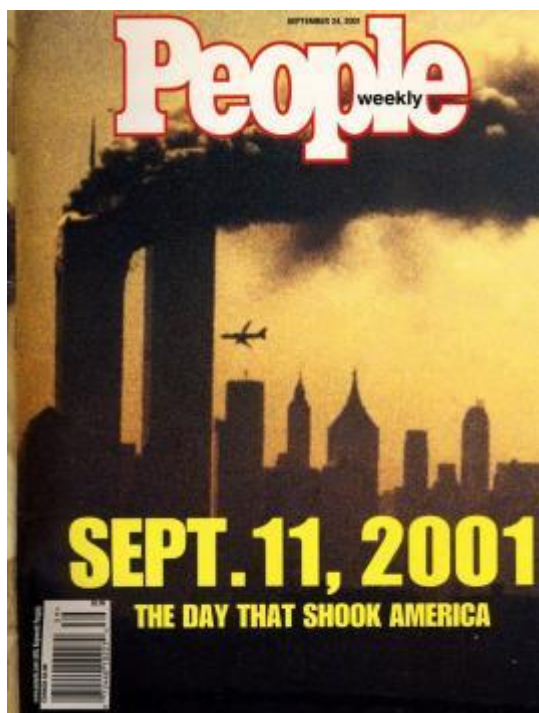
# 登戸学寮ニュース

公益財団法人 登戸学寮  
〒214-0032  
神奈川県川崎市  
多摩区枳形 6-6-1  
発行人 福島 穆

## 九・一一(ナイン・イレブンの)

### 現場に立つて

理事長 福島 穆



9.11 を報じる当時の雑誌の表紙

二〇〇一年九月一日、アメリカ合衆国は未曾有の惨事に襲われた。マンハッタン島に位置する World Trade Center (WTC) 南、北の両方にハイジャックされた航空機が突っ込み両ビルとも炎上・崩壊、多くの犠牲者を出した。以来、アメリカを中心に世界はテロとの戦いに明け暮れることとなった。

◆  
アメリカ合衆国の東部には「アイビリーガー」と称される名門大学がある。ニューヨーク州にはプリンストン大学がある。この大学の若い卒業生の一人が、一八九八

#### ※ 目 次 ※

- 九・一一(ナイン・イレブンの)の現場に立つて…………… 1
- 寮の行事紹介…………… 3
- 聖書のことば(『ガラテヤの信徒への手紙』二章11-14節)…………… 4
- 理事会・評議員会報告…………… 7
- 寮友会より…………… 9
  - 卒寮生名簿(ご案内)
  - 寮友会総会のご案内
  - 私たちは同県人です
  - 同期生消息
- コラム 俳句鑑賞の手引き(5) 俳人(学寮員) 岸本尚毅…………… 11
- 創立六〇周年記念募金報告…………… 12
- ご案内…………… 13

年、中国にわたって、今でいう「ボランティアとインターンシップ」を併せ持った活動を行ったのが最初で、現在では Princeton-In-Asia (PIA) と称される活動を開始した。以来、PIA を介してアジアの多くの国々に英語教育や、企業活動など様々な分野で活躍し

て国際相互理解に寄与する人物を送り込んでいる。私が勤めていた会社でも国際化の一環から同プログラムにより毎年二名のインターンを受け入れていた。役柄からそのインターンの担当に任命されたのだが、なかなか優秀な若者で、会社内では専らコンピュ

ーターによる経営改善をテーマにしていた。

一九九八年には、このプログラムがちょうど二〇〇周年を迎えることとなった。プリンス頓内大学のこのPIAでは、これを記念して大学関係者インターンのOB・OG、受け入れ先などを招待して大々的に一〇〇周年の記念行事を開催することになった。どういふ風の吹き回しか受け入れ側を代表して小生に記念のスピーチをいう要請がPIAから来た。予期しない招待に戸惑いながらも準備を始めた。そして、その記念会の会場がなんと、World Trade Center (WTC)であった。

私は登戸学寮に在寮当時、黒崎幸吉先生から、先生が在学当時の第一高等学校の校長「新渡戸稲造」の話を度々伺っていた。会社員となったころ、『新渡戸稲造全集』が発行され買い求めて必死に読んだ。

新渡戸稲造は第一次大戦の惨禍の結果いかに国際平和をもたらすかという反省から生まれた「国際連盟」の事務次長として大きな活動をして、日本を代表する国際人として国際平和に尽くしたのであった。こうした思いを胸に抱いて、このPIAこそ国際理解を深める絶好の機関としてその果たすべき希望を述べたのであった。恥ずかしながら私はこのスピーチの直後に初めて「スタンディング・オベーション」なるものを味わった。満場の皆様が総立ちで拍手を頂いたのであった。

しかし、それから僅か三年後に、冒頭述べたアメリカの各地を襲ったテロ事件が起こった。特にWTCビルが攻撃を受け崩壊したことに私のショックは大きかった。あの記念会を行ったWTCビルに航空機が衝突して炎上、崩壊。惨状はメディアを通して見・

聴きするうちに何とも言えない脱力感に襲われてしまった。従いこのニュースは心のうち一種のトラウマを残して思い出すのも怖かった。しかし、事件から時間が経過するうちに、その現場がどのような状態になっているのか言うことも気になり始めていた。一時は「グランド・ゼロ」という呼称も聞いたことがあった。

二〇一八年五月、偶然の機会から久しぶりにマンハッタンを訪問する機会に恵まれた。出かける前からWTCの跡地を訪問することを気にしていた。そして遂に現場に立つことができた。かつてWTCビルの跡地はビルの大きさと同じサイズの堀に囲まれたプールのようになっていて、周囲から水が常時流れ出してプールの中を潤していた。さらに真ん中にはもう一つの四角の落ち口があり、水が流れ込んでいた。ここだけは街の騒音

が聞こえてこなかった。四周には斜めの面があり、そこには犠牲になった多くの方々の名前がフルネームで刻み込まれていた。この名前には一定の深さがあり、丁度花を一輪立てるのに適しているとのことであった。思わず佇んで犠

牲者に暫し祈りをささげた。そして、しばらくはそこから離れることができなかった。この場所は今では事件の日付に因んで「ナイン・イレブン」と呼ばれて、訪問者が途切れることはない。



現在の9.11 広場



# 寮の行事紹介

## ◆黒崎幸吉記念

### キリスト教講演会

六月三日(日)一四時より、今井館聖書講堂に於いて、二〇一八年度の黒崎幸吉記念キリスト教講演会が開催されました。

「登戸学寮六〇周年―過去・現在・未来―」という題を掲げた今回は、福島穆理事長による「黒崎先生が登戸学寮に抱いた夢」、寮長による



「ドイツ学生生活事情」、そして寮生の三浦朔さん(東京農業大学二年)による「震災後の熊本―同じ被災者として感じたこと―」の三つの講演が行われました。

当日は暑い中、約三〇名の方々にご来場いただきました。とりわけ、現役寮生の発表には興味津々で聞き入っていました。

なお、本講演会の内容につきましては、『方舟』五九号に掲載を予定しています。



## ◆防災訓練

六月一七日(日)、防災訓練を行いました。今年は消防署から器具のみお借りしての実施となりましたが、寮生の朝日さんが大活躍でした。

訓練用のAEDを操作したり、水消火器で放水したり。通報訓練では、皆が寮の電話番号を覚えていないことが発覚。この機会にしっかりと確認しました。



## ◆七夕

七月某日、廊下に七夕飾りを設置しました。今年中は庭からちようどよい大ききの笹を切り出しました。

さまざまな願いが風に揺れます。



## ◆夏の大掃除

七月八日(日)、今学期は少し早めに大掃除を実施しました。普段はなかなか手の回らない窓や網戸、冷蔵庫のなかなど、この機会に隅々まで綺麗にしました。



◆多摩川いかだレース

七月二十五日(日)第二八回多摩川いかだレースに参加しました。今年で七回目の出場となる今回は、経験者一名を含む計三名で出走。

他の寮生も応援に駆けつけ、酷暑の中、三四分二四秒で無事にゴール。残念ながら入賞はなりませんでしたが、見事な走りでした。

レースの後は、恒例のバーベキューで健闘を讃えました。

(寮長 山吉裕子)



聖書のこぼれ

『ガラテヤの信徒への手紙』一章11-14節

パウロの時代には、キリスト教はユダヤ教からまだ完全に分離していませんでした。この

キリスト教黎明期においては、イエスの宣べ伝えた救いにあずかるためには、異邦人であってもユダヤ教の慣習を守らねばならないのか、ということが大きな問題となっていました。特に議論を呼んでいたのが割礼と食物規定です。

モーセの律法によれば、全てのユダヤ人男子は、神ヤハウェとの契約の証として、生まれてから八日目に割礼を受けなければなりません(創一七12、レビ二二3)。ルカによれば、イエスも(ルカ二21)、またパウロも(フィリ三5)割礼を受けています。外国人がユダヤ人と同じ祝いの席に着く場

合には、割礼が求められました(出二二48)。

食物規定とは、ユダヤ人が食べてよいものと食べてはいけないものを定めたもので、レビ記一三章にその一覧が載っています。たとえば、ひづめが完全に割れていて反芻する動物は食べてもよく、そうでないものは食べてはいけません。(レビ二二8)。つまり、羊は食べてもよいですが、豚はだめです。あるいは、魚類のうち、ひれ、うろこのあるものは食べてもよく、そうでないものは食べてはいけません(レビ一一九12)。つまり、イカやタコなどは食べてはいけません。なぜあるものは食べてもよく、あるものはダメなのか、その根拠は記されていません。しかし、この規定を守





古代エジプトにおける割礼の様子



ユダヤ教の食物規定を守った食事の一例

ることによつて、「わたしが聖であるように、あなたたちも聖となるように」と言われます（レビ二一45）。つまりユダヤ人にとつて食物規定とは、食事という極めて日常的なものを通して、自分たちが神に従う者であることを意識し続けるという意味があるのです。

この割礼と食物規定は、ユダヤ人にとつて自分たちと周辺の異邦人とを区別し、民族としてのアイデンティティを保持する役割を果たしていました。しかしそれは同時に、自分たちの仲間には属さない者を排除することでもありました。この二面性が顕著にあらわれているのが、今回ご紹介する「アンテイオキア衝突事件」です。

シリア州に位置し、パレスチナと小アジア、キプロスとをつなぐ交通の要衝であるアンテイオキアは、前三〇〇年、セレウコス朝シリアの王セレウコス一世により、第二の首都として建設されました。「キリスト教徒」という呼称が初めて使われるようになったのは、この町でのことです（使一一26）。アンテイオキア教会には、もともとユダヤ教徒で、イエスの教えに共感するようになったユダヤ人キリスト教徒と、もともと非ユダヤ教徒で、イエスの教えに共感するようになった

「異邦人キリスト教徒」が混在しており、食卓を共にしていません。冒頭で、この頃のキリスト教はまだユダヤ教から完全に分離していなかったと申しました。つまり、イエスの伝えた救いにあずかるためには、割礼や食物規定といったユダヤ教の慣習を守らねばならない、と考えていた人々がいたということですね。そのような状況にあつて、これらの慣習を持たない異邦人キリスト教徒と同じ食卓を囲むというのは、ユダヤ人キリスト教徒としては非常に進歩的な態度であると言えます。

ユダヤ人であり、イエスの直弟子であつたペテロも、アンテイオキア教会を訪れた際、その慣例に倣いました。しかし、エルサレム教会のヤコブのもとからユダヤ教の慣習に厳格なユダヤ人キリスト教徒がやってくる、ペテロは異邦人キリスト教徒との交わりから身を引いてしまつたのです。アンテイオキア教会の指導者であつたバルナバもそれに同調しました。それをパウロは真つ向から非難します。そのときの様子は、『ガラテヤの信徒への手紙』二章11-14節に記されています。

11 さて、ケファ（ペテロ）がアンテイオキアに来たとき、非難すべきところがあつたので、わたしは面と向かつて反対しました。12 なぜなら、ケファは、ヤコブのもとからある人々が来るまでは、異邦人と一緒に食事をしていたのに、彼らがあつて来ると、割礼を受けている者たちを恐れてしり込みし、身を引こうとしたからです。13 そして、ほかのユダヤ人も、ケファと一緒にこのような心にもないことを行い、バルナバさえも彼らの見せかけの行いに引きずり込まれてしまいました。14 しかし、わたしは、彼らが福音の真理にのつとつてまっすぐ歩いていないのを見たとき、皆の前でケファに向かつて

てこう言いました。「あなたはユダヤ人でありながら、ユダヤ人らしい生き方をしないで、異邦人のように生活しているのに、どうして異邦人にユダヤ人のように生活することを強要するのですか。」

ユダヤ人にとって、とりわけ食物規定は彼らの日常生活と密接に結びついていました。ヤコブのもとから人々がやつてくる前のアンティオキア教会では、ユダヤ人キリスト教徒が食物規定を放棄する、すなわちユ

ダヤ人としてのアイデンティティーの一部を放棄することに よつて、異邦人キリスト教徒との食卓の交わりを可能にしていた。ヤコブのもとから来たユダヤ人キリスト教徒は、これとは逆に、異邦人キリスト



「討論する二人の男〈聖ペテロと聖パウロ〉」

レンブラント（1628年）

ヴィクトリア国立美術館（オーストラリア）所蔵

教徒が食物規定を遵守することを求めました。すなわち、食物規定を守らない人々を交わりから排除することで、仲間とそれ以外を峻別しようとしたのです。

異なつた集団が関わりを持つとうとする際、そこにはしばしば軋轢が生じます。もしもアンティオキア教会が異邦人キリスト教徒のみ、あるいはユダヤ人キリスト教徒のみから成つていたならば、このような問題は起きなかつたことでしょう。しかし、違いを超えて交わりを持つとうとするならば、一体どのようにして折り合いをつけていくのかを考えねばなりません。何かを守ることを交わりの条件にした場合、内部の結束は強まりますが、守れない人々を排除することに繋がります。しかし、守らないことを許容するならば、守ることが当然と思つている人々に忍耐や譲歩を強いることにな

ります。どちらを選ぶにせよ、誰かが何かを譲らなくてはなりません。

割礼と食物規定という問題をめぐつてパウロが選んだのは後者の解決法でした。ユダヤ人として譲歩する側であるパウロがその道を選んだということに、大きな意味があると言えるのではないのでしょうか。

（山吉裕子）

## 理事会・評議員会報告

### 1. 理事会、評議員会の開催

公益財団法人登戸学寮の定例理事会は二〇一八年五月二十六日(土)に、定時評議員会は六月一六日(土)に登戸学寮で開催されました。以下にその主な議事内容について報告します。

### 2. 二〇一七年度決算

五月の定例理事会及び六月の定例評議員会で、昨年度決算が別表(貸借対照表、正味財産増減計算書、収支計算書(除六〇周年寄附))の通り、承認されました。

・貸借対照表については、六〇周年寄附の合計、約一一四一二十千円のうち、二〇〇万円を特定資産中、特定費用積立金に入れ、残りの約九四一二十千円に前年度からの剰余金三〇〇〇千円(注)を加えた約一二四一二十千円を修繕等特定資産積立資金に繰り入れしました。

・正味財産増減計算書(損益計算書)で見ると、経常収益は、二五四一六千円(前年度対比三八〇九千円)、経常経費は二九二七八千円(前年度対比十二三四〇千円)、当期経常増減額一三八五二千円となりました。一九年度経常収益の減少の主な理由は、寄付金及び寮費の減少によるもの、経

常費用の主な増加は、寮長給与、雑給、修繕費、広報費等の増加によるものです。

・六〇周年寄附を除いた収支計算書で見ると、事業活動収入は、正味財産増減計算書と同じ、事業活動支出は、上記経常費用から減価償却費を除いた額で、二二六七五千円、投資活動経費は、七八八七千円(建物再建積立金三七〇万円、剰余金積立三〇〇万円、インターネット工事七九万円等の合計)、当期収支差額は、一五二一六千円、次期繰越収支差額は、五五四千円となりました。

・三〇年度予算で想定している寮生数二七名のところ、前期寮生数が二五名(うち留学生三名)にとどまっていることから、三〇年度決算は、さらに相当の赤字が予想され、厳しい財政運営が余儀なくされています。このため、来年度に向けての抜本的な寮生確保

対策が求められています。

(注)「剰余金三〇〇万円の修繕等特定資産への積立について」

収支相償の観点から平成二九年度において解消すべきとされた剰余金処理(二七二七千円)については、修繕等特定資産積立三〇〇万円及び男子寮光回線工事七八九千円への充当によつて対応いたしました。

### 3. 次期評議員選定委員の選定

五月の理事会で、来年度の役員改選に向けて、定款二二条に基づいて、下記の通り次期評議員選定委員が選定されました。

蟹江雅彦(評議員)  
黒崎 稔(監事)

山吉裕子(事務局長・寮長)  
西永 頌(外部委員・今井館 副理事長)

古角 隆(外部委員・寮友会 役員)

### 4. 定款変更

六月の定時評議員会で、来年度の役員の改選に向けて、評議員構成の多様化の観点から、定款第一条の評議員の定数を下記の通り変更することが承認可決されました。

現行、「この法人に評議員七名以上一〇名以内を置く」  
改訂後、「この法人に評議員八名以上一五名以内を置く」

### 5. 特記事項

(一)六〇周年記念事業の補修工事

六〇周年記念事業の寄付総額は、目標額を大幅に下回っていることから、今年の記念事業の補修工事は実施を見送るものとなりました。

## (2) 六〇周年記念誌

六〇周年記念誌は五〇周年記念誌を参考に作成・編集し、七〇ページ程度のものになる見込みであり、一二月完成を目指して記念会に間に合うよう準備しています。

## (3) 六〇周年記念会及びホームカミングデーについて

六〇周年記念会及びホームカミングデーは、一二月二四日に開催し、当日は二時～二時に寮友会総会、二時半～一三時半に臨時理事会・評議員懇談会を想定すると、一四時～一七時が記念会及びホームカミングデーとなることとの報告がありました。

(理事 小島拓人・小西孝蔵)

### 正味財産増減計算書

平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日まで

法人名:公益財団法人 登戸学寮

科目	H29.4.1~ H.30.3.31	H28.4.1~ H29.3.31	増減
	当年度決算	前年度決算	
<b>I 一般正味財産の部</b>			
経常収益			
基本財産運用益	12,362	7,008	5,354
受取入寮費	1,500,000	1,200,000	300,000
受取寮費	22,428,472	23,572,297	-1,143,825
受取寄付金	1,325,000	4,379,000	-3,054,000
雑収益	160,443	77,086	83,357
経常収益計	25,426,277	29,235,391	-3,809,114
経常費用			
事業費	29,278,454	26,938,036	2,340,418
人件費	8,803,422	7,867,470	935,952
随材料費	2,782,642	2,439,079	343,563
会議費・役員会雑費	507,714	477,474	30,240
寮生福利厚生費・活動支援費	287,980	713,173	-425,193
旅費交通費・車両費	230,242	133,601	96,641
通信運搬費	1,072,084	1,194,950	-122,866
減価償却費	6,603,484	6,672,398	-68,914
消耗品費(厨房等)・事務用品費	608,317	286,980	321,337
修繕費・什器備品費	1,859,289	1,093,241	766,048
方冊刊行費・印刷製本費	645,256	388,910	256,346
講演会諸雑費	169,140	64,897	104,243
水道光熱費	2,349,759	2,296,399	53,360
広報費	798,942	501,206	297,736
図書新聞費	62,137	86,520	-24,383
支払報酬料	796,224	518,400	277,824
災害保険料・防災費保険費	577,923	654,571	-76,648
租税公課	346,410	344,750	1,660
支払手数料・寄付金・その他	777,489	1,204,017	-426,528
経常費用計	29,278,454	26,938,036	2,340,418
当期経常増減額	-3,852,177	2,297,355	-6,149,532
経常外収益計	0	0	0
経常外費用計	558,158	0	558,158
当期経常外増減額	-558,158	0	-558,158
当期一般正味財産増減額	-4,410,335	2,297,355	-6,707,690
当期指定正味財産増減額	11,411,800	0	11,411,800
<b>II 正味財産期末残高</b>	<b>235,050,842</b>	<b>228,049,377</b>	<b>7,001,465</b>

### 貸借対照表

平成 30 年 3 月 31 日現在

公益財団法人登戸学寮

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
<b>I 資産の部</b>			
流動資産			
現金預金	6,478,244	13,834,938	-7,356,694
未収金	62,800	149,909	-87,109
仮払金	0	0	0
前払金	767,506	769,255	-1,749
立替金	2,160	0	2,160
流動資産合計	7,310,710	14,754,102	-7,443,392
固定資産			
基本財産			
土地	592,500	592,500	0
建物	130,463,590	136,410,780	-5,947,190
定期預金	10,000,000	10,000,000	0
基本財産合計	141,056,090	147,003,280	-5,947,190
特定資産			
建物再建特定積立資産	70,048,012	66,348,012	3,700,000
修繕等特定資産積立資金	12,411,800	0	12,411,800
特定費用準備金	2,000,000	0	2,000,000
特定資産合計	84,459,812	66,348,012	18,111,800
その他固定資産合計	3,990,133	4,017,565	-27,432
固定資産合計	229,506,035	217,368,857	12,137,178
<b>資産合計</b>	<b>236,816,745</b>	<b>232,122,959</b>	<b>4,693,786</b>
<b>II 負債の部</b>			
流動負債			
仮受金	0	0	0
前受金	251,300	2,186,388	-1,935,088
未払金	864,864	1,287,359	-422,495
預り金	109,739	59,835	49,904
入寮時預り金	540,000	540,000	0
流動負債合計	1,765,903	4,073,582	-2,307,679
固定負債合計	0	0	0
<b>負債合計</b>	<b>1,765,903</b>	<b>4,073,582</b>	<b>-2,307,679</b>
<b>III 正味財産の部</b>			
正味財産			
1.指定正味財産	11,411,800	0	11,411,800
2.一般正味財産	223,639,042	228,049,377	-4,410,335
正味財産合計	235,050,842	228,049,377	7,001,465
<b>負債及び正味財産合計</b>	<b>236,816,745</b>	<b>232,122,959</b>	<b>4,693,786</b>

### 収支計算書(除 60 周年寄附)

単位:千円

	29 年度予算	29 年度決算	30 年度予算
事業活動収入	25,610	25,426	24,366
事業活動支出	23,360	22,675	22,960
事業活動収支差額	2,250	2,751	1,406
投資活動経費	4,900	7,887	3,700
当期収支差額	-2,650	-5,136	-2,294
次期繰越収支差額	(前期繰越) 10,680	5,544	(予測) 3,250

(注1)30 年度収入には、積立金取り崩し分は含まず。支出には、60 周年関連を含む。

(注2)29 年度投資活動経費には、剰余金積立分(300 万円)を含む。

(注3)30 年度予算の積算では寮生数 27 名一年度当初寮生数 25 名(うち3名は留学生)



## 寮友会より

登戸学寮卒業生の皆さんにおかれましては、寮友会活動に変わらぬご支援ご協力をいただき、本紙をお借りして厚く感謝を申し上げます。

### 卒業生名簿のご案内

寮友会として三年ぶりとなる卒業生名簿作りに関して、ご案内を申し上げます。

このプランのスタートは、本年六月五日に開催された寮友会・役員会議であり、審議の結果、「卒業生名簿の二〇一八年度改訂版」作成に関して、以下の方針が定まりました。

新名簿に掲載する個人情報

は入寮年次、現住所、メールアドレスに限定。なお、本名簿には卒業生ばかりでなく、寮長、寮職員、公益財団法人登戸学寮の役員等の関係者を加えるものとする。

本年一月二四日に開催される「登戸学寮六〇周年記念行事」で来場された方々に「二〇一八年度版名簿」をお渡しできるように準備を進める。

・現在の名簿(二〇一五年度版)に記載されている卒業生は、三二八名。これに、メールアドレスの登録がなく住所も不明の二四〇名(推定)と、ご召天者三七名を加えると卒業生総数は六〇五名と推定。

名簿に記載されている三二八名の現況は以下の通り。

・完全型(二二七名)：住所とメールアドレスの両方が記載。  
・住所型(二八一名)：住所は記載されているが、メールアドレスの記載がない方。  
・メール型(二〇名)：メールアドレスは記載されているが、住所の記載がない方。

このような状況から名簿充実に向かつて以下の対策を講じました。

・住所型対策：登録された現住所にハガキを郵送し、パソコンまたはスマートフォンから、蟹江会長のアドレス宛てにメールを送信していただくように要請。この結果一二名より回答あり。  
・メール型対策：メールで現住所を教えてくださいと要請し、二名から回答あり。

これらの新情報を加えて、これからの作業の原本となる

「名簿チェックリスト」を作成しました。

次いで、寮友会役員および公益財団法人登戸学寮理事の協力を得て、多人数で「名簿チェックリスト」の総点検を実施しました。

本ニュースの発行時点では、「卒業生名簿の二〇一八年度改訂版」編集作業は終了しておりませんが、一歩一歩確実に前進をしておりますので、しばらくお時間をいただきましたと思います。

### 寮友会総会のご案内

毎年恒例となっている寮友会総会ですが、本年は一月二四日(土)一時から、登戸学寮で開催いたしますので、会員の皆さんにご案内いたします。

昨年度は、当日の午後同じ登戸学寮にてHCD(ホーム

カミングデー)イベントが実施され、大変好評でした。本年は「六〇周年記念行事」が企画されていますので、ぜひ登戸学寮にお出かけください。寮友会総会での審議事項は、

・一号議案：前年度事業報告  
・二号議案：前年度決算および監査報告  
・三号議案：新年度役員選出  
・四号議案：新年度事業計画  
・五号議案：新年度予算  
の五つとなっています。

全ての議案に関しては、総会当日に資料を配布します。なお、総会及び六〇周年記念行事の詳細については、一〇月中旬までには卒業生各位に再度案内文書をお届けすることを考えていますが、取り急ぎ、スケジュール表に予定を記入していただければ幸いです。

# ■ 私たちは 同県人です ■

今回は、広島県及び山口県在住者の卒業生の方をお届けします。現住所の上の数字は入寮年次です。

## ✿ 広島県(四名)

◎ 中川薫二さん

一九六五年、竹原市

◎ 桂 秀次郎さん

一九六八年、府中町

◎ 中島耕三さん

一九六九年、大竹市

◎ 松島 満さん

一九九三年、廿日市市

## ✿ 山口県(五名)

◎ 牛見義信さん

一九六五年、防府市

◎ 岡崎新太郎さん

一九六八年、下関市

◎ 石丸 勝さん

一九六九年、防府市

◎ 渡辺繁樹さん

一九九一年、山口市

◎ 福見拓也さん

二〇〇七年、山陽小

野田市

## ■ 同期生消息

(一九七二年入寮)

登戸学寮の一五期生の方々の消息をお伝えします。

◎ 赤羽正春さん

新潟県村上市在住

◎ 伊藤美保さん

長野県諏訪市在住

◎ 片倉敬輔さん

山形県川西町在住

◎ 金井 守さん

神奈川県横須賀市在住

◎ 草地茂樹さん

東京都町田市在住

◎ 久保田吉馬さん

香川県高松市在住

◎ 柴田章三さん

東京都世田谷区在住

◎ 島 創平さん

東京都稲城市在住

◎ 田島 誠さん

栃木県宇都宮市在住

◎ 松本智昌さん

茨城県水戸市在住

◎ 丸山京男さん

福島県本宮市在住

◎ 八木文明さん

山形県長井市在住

◎ 矢崎俊二さん

東京都町田市在住

◎ 若林伸介さん

埼玉県秩父市在住

● 入寮時寮長 前野 正先生

これらのデータは、全て寮友会名簿に基づいておりますが、必ずしも正確に記されているわけではありませんので、間違いを見つけた方は、寮友会会長にご一報をお願いします。

● 一九七二(昭和47)年の主な出来事

一月二四日 元日本兵・横井庄一軍曹、グアム島の密林で保護される。二月二日、帰国。



二月三日 アジア初の第一一回冬季オリンピック札幌大会開催(一三日)。日本は七メートル級ジャンプで金銀銅を独占。金の笠谷幸生選手、銀の金野昭次選手、銅の青地清二選手の三人は、「日の丸飛行隊」の愛称で呼ばれた。



二月一九日 連合赤軍の五人、長野県軽井沢町の浅間山荘に籠城。二八日警官隊が突入し、全員逮捕。警官二人死亡、重軽傷者一三人。逮捕時のテレビ最高視聴率九〇%。



五月一五日 沖縄の施政権が返還され、沖縄県発足。復帰に伴う通貨交換実施。一ドル二〇五円。政府は特別恩赦を実施。



五月三〇日 イスラエルのテル・

アビブ空港で日本赤軍乱射

事件。二六人死亡、一〇〇

人負傷。

六月二一日 田中角栄通産相、

政権構想の柱として「日本列

島改造論」を発表。

六月一七日 ウォーターゲート

事件発覚。

七月七日 第一次田中角栄内閣

成立。中華人民共和国との

国交正常化を急ぐと首相談

話。



八月二六日 第二〇回オリンピ

ック・ミュンヘン大会開催(

九月二一日)。



九月二五日 田中首相訪中。周

恩来首相と会談し国交正常

化の基本方針で合意。二七

日、毛沢東主席と会談。

(寮友会会長 蟹江雅彦)



### コラム 俳句鑑賞の手引き(5)

俳人(学寮OB) 岸本 尚毅

前回、住宅顕信(すみたく・けんしん)とい

う俳人の「自由律」の俳句として、たとえば「ず

ぶぬれて犬ころ」(句集『未完成』所収)とい

った作品を紹介しました。そのさい、この俳

句(?)には季語はありません、と申しました。

なぜ、わざわざ季語がないと言ったかといえ

ば、一般的に、俳句には季語を入れないといけ

ないという約束事があると考えられているか

らです。この約束事を厳格に考えている俳人

は、「ずぶぬれて犬ころ」という作品を俳句と

して認めません。俳句でなくて、ただの「短詩」

だと言っているのです。

季語が俳句にとつての必要条件かどうか

については、いろいろと議論があるわけですが、

私は、日本詩歌の歴史に照らして考えるべきだ

と思います。

日本の詩歌が古来、春夏秋冬の景物を詠み込

んできたということは皆さまご存じの通りで

す。百人一首にも雪月花を詠んだ和歌が多く見

られます。ただし、春夏秋冬が詩歌の題の全て

かという、必ずしもそうではありません。万

葉集以来の和歌の撰集の「部立」(章立て)に

は、春夏秋冬に加え、挽歌(人の死を悼む)、

相聞(恋愛など)、雑(その他)といった括り

があります。春夏秋冬は重要ですが、必ずしも

それが全てではなく、季節性のない事象を詩歌

に詠むことは当然あったわけです。

和歌の時代から、雪月花のような季節の景物

を表す言葉「季の詞」と称し、好んで詩歌に

詠み込んで来ました。「月」は年中美しいわけ

ですが、それを特に「秋」の景物とみなすよう

になったのは、平安時代のある勅撰集以降のこ

とです。季語の多くは自然現象ではありません

が、それが詩歌の言葉になる過程で文化的なフ

ィルターがかけられているのです。

日本詩歌の歴史は、長く和歌と漢詩が主役の

時代が続きましたが、中世に連歌が登場し、さ

らに近世には連歌が俗化した俳諧という新し

いジャンルが生まれました。さらに近代になっ

て俳諧の発句が「俳句」として独立し、今のよ

うな俳句になったわけです。ですから芭蕉、蕪

村、一茶の作った句を私たちは「俳句」と呼ん

で鑑賞しますが、歴史的にはそれらは俳句では

なく「発句」だったのです。

今回は、発句になぜ季語が必要とされたか

についてご説明します。(続く)



## 創立六〇周年記念 募金報告

多くの皆様の厚いご支援により、登戸学寮創立六〇周年記念事業募金は、二〇一八年八月三十一日現在で一五八五万円、寄附者の延べ人数は五四九名（うち集会二八）に達しました。ご協力いただいた方の人数は、延べ四百六十九人に達しております。募金期間三年（二〇一七年度～二〇一九年度）、目標金額三千万円に對しまして、丁度中間地点に到達したことになります。ここに至りますまで、かくも多くの方々のご協力を頂いておりますこと、関係者一同厚き感謝の心をもつてお礼を申し上げますと共に、ご報告申し上げます。

然し乍ら、かかる表現をお許しただきたいのですが、謂わば未だ道半ばでもあります。今回の募金の目的は、本館（男

子棟）の耐震を中心とした補修工事と、寮生の国内外におけるボランティア活動や研究活動などを助成する「寮生活動支援制度」を継続していくこととあります。最近各地にみられます地震を含む自然災害に思いをいたしますと、一日も早く耐震工事をいたしたく存じております。また、「寮生活動支援制度」につきましては、二〇一六年に制度を立ち上げ、過去三年の間実行してまいりましたが、若い日に慣れた環境を飛び出して新たな経験を積むことにより、視野が広がり、人間性が深まるという、大きな成果をあげております。寮生それぞれの具体的な活動内容につきまして、本「登戸学寮ニュース」や、毎年六月の第一日曜日に開催しております、黒崎幸吉記念キリスト教講演会などでご報告申し上げますと同時に、寮誌『方舟』誌上にてお伝えいた

している通りであります。なお、次号の『方舟』五九号には、昨年度、本制度を利用して、地震によつて大きな被害を受けた熊本での農業実習に参加した寮生の活動報告が掲載される予定です。

従い、誠に心苦しいのでありますが、当初の目的を達成するために、今後ともなお一層のご協力をお願いいたす次第でございます。本誌にまた「払込取扱票」を同封させていただきますので、ご無理のない範囲でのご協力をよろしくお願い申し上げます。感謝をもちつて中間報告とさせていただきます。

公益財団法人登戸学寮  
創立六〇周年記念事業  
委員会

委員長 大島智夫  
理事長 福島 穆  
寮 長 山吉裕子

### 登戸学寮 創立 60 周年記念事業のご案内

「登戸学寮創立 60 周年記念事業」は今後長期にわたり学寮の施設・設備を維持運営してまいるとともに、学寮生の研究や活動を支援する「寮生活動支援基金」を創設するため、2017 年 4 月から 2020 年 3 月までの 3 年間、広くご寄付を募ります。

次世代を担う若者にとって様々な学びの場となる登戸学寮のために、趣旨にご理解を賜り、ご協力をいただきますよう宜しくお願い申し上げます。

寄付公募目標額：3 千万円

寄付の目的：耐震工事などの諸施設改修工事、「寮生活動支援基金」の創設

公募期間：2017 年 4 月～2020 年 3 月

公募申込先：公益財団法人 登戸学寮（創立 60 周年記念事業事務局）

公募申込方法：下記の 2 通りによりお申込みいただきます

A・年間払い：一口 一千元（何口でも可） 3 ヶ年にわたりお払込み

B・一時払い：お納めいただける金額を一時にお払込み

お払込み方法：ゆうちょ銀行「払込取扱票」（手数料加入者負担の専用払込用紙をお送りします）によりお払込み

払込口座番号 00220-3-138019

加入者名 公益財団法人登戸学寮特別基金

# ご案内

## 六〇周年記念会・ホームカミングデーの開催

一月二四日(土)、一四、一七時、登戸学寮にて開寮六〇周年を祝し、記念会などを開催いたします。

▼六〇周年記念会：卒業生らの話を通じ、登戸学寮の六〇年の歩みを振り返ります。

▼ホームカミングデー：六〇周年を祝した楽しいイベントを計画。今年も若手の卒業生が中心となり準備を進めています。

先輩・後輩・同期の皆さまをお誘いの上、ぜひご参加ください。(HCD実行委員会)

## 新しい学寮パンフレット

新しい学寮パンフレットを作成いたしました。黒崎幸吉氏による学寮設立の経緯の説明、最寄りの向ヶ丘遊園駅から寮までの案内図(寮生が作成しました)、設備や日々の生活の様子が垣間見える写真を数多く掲載している他、現役寮生によるメッセージも紹介しています。

寮紹介など、さまざまな場面においてご利用いただけば幸いです。パンフレットをご希望の方は、学寮にご連絡下さい。

### 登戸学寮について



開寮式 1958年5月

登戸学寮は、内村鑑三の影響を受けた新進学者として知られる黒崎幸吉(1886-1970)が、日本の将来を担う若者の育成による個人指導を目的として、1958年、枳形町の地に男子学生寮を開設したことに始まります。

寮の開設までの道のりは決してたやすいものではありませんでしたが、寮生の間にも多くの方々の協力や寄附を得て、初代の寮長にはフェリス学院大学教授の黒崎安吉氏を迎えました。以降、黒崎の遺志を継ぎ、これまでに600名を超える卒業生を送り出ししてきました。

また、2010年には女子寮が併設され、男女の学生を受け入れることができるようになりました。2011年に公益財団法人に移行し、現在にいたっています。



男子寮



女子寮・資料室

### CONTACT

公益財団法人 登戸学寮  
〒214-0032 川崎市多摩区枳形6-6-1

TEL: (044) 933 0819  
FAX: (044) 455 5433  
E-Mail: noborito@gakuryo.or.jp  
ホームページ: http://www.gakuryo.or.jp

### ACCESS

小田急線向ヶ丘遊園駅南口より徒歩7分



### 公益財団法人 登戸学寮 SINCE 1958

#### 入寮のご案内



<http://www.gakuryo.or.jp>

### 充実した設備



寮生記念図書室

プレイルーム(ピアノ、卓球台などあり)、読書室(最新の漫画も揃っています)、会議室(資料室)(自室に兼用)など、共同で使える設備がたくさんあります。




### 人との交流

様々な大学に通う寮生との交流はそれだけで刺激的。さらに様々なイベントを通して寮生同士、OB・OGとの交流を楽しんでいます。

#### 主体的な学び

人間力を養う大切な時間を、寮がサポートします。

- 寮内外における課外活動を助成する「寮生活動支援制度」、講演会での発表機会の提供など、寮生の専攻を応援します。
- 毎朝の朝礼、各種の礼拝・聖書講義等により世界の古典である聖書を主体的に学ぶことができます。




所在地	〒214-0032 川崎市多摩区枳形6-6-1
交通	新橋駅まで徒歩で20分 浜田駅まで徒歩で30分 向ヶ丘遊園駅南口より徒歩7分
建物	男子寮：鉄筋コンクリート4階建て Aタイプ(12㎡) 6室 Bタイプ(9㎡) 18室 女子寮：鉄筋コンクリート3階建て 10㎡ 15室 企業向けフロア・リビング、エアコン、Wi-Fi、図書室、セリアなど 洗濯機・乾燥機・お風呂・シャワー・トイレ・キッチンなど共有
運営	公益財団法人 登戸学寮 理事会 理事長：福島 孝(元NEC) 寮長：山田裕子(M.A. Theological Research ドイツ・ハイデルベルク大学)
費用	入寮費 150,000円、預り金 30,000円 寮生の寮費 寮料：男子A 42,500円 男子B 39,500円 女子 44,500円 食費：20,000円(寮費中は不要) 共益費：13,000円 *寮生の寮費は実費負担 *契約更新料なし
食事	朝・夕・夜付(日曜・祭日・祝日除) 寮期間 夏期：約40日、冬期：約2週間 春期：約40日 *食事なし・自由費キッチンあり *寮費中は食事代はいただきません
入学対象	男女大学院生、大学生、専門学校生、予備校生
入学手続	申込を頂いたあとに面談をいたします
特色	共同生活と聖書の学びを通して人間力を養います 在寮生のほとんどがクリスチャンです 寮の設備、設備です

### おいしい食事

朝・夕・夜、調理スタッフの心づくしの食事が提供されます。「おいしい!」と大評判。



### 在寮生からのメッセージ

私はこの登戸学寮で寮生活を始め、1年になります。寮生活は想像以上に大変なだけでなく、廊下で人とすれ違うだけでも緊張していました。しかし今となっては、人と会うのが不思議なくらいです。寮生活のおかげで学ぶことも多く、日々成長が感じられると思います。特に、今年行った寮生記念講演会では、普段聞かれない話や疑問の多い寮生活の現状を、自分自身の経験から話していただきました。多くの大学生と寮生活の両方、全力で楽しんでいます。(2017年入寮 S.M.)